

	開催年月日	研究会又は招待講演	演者		話題提供	演者		その他・連絡会
			所属	氏名		所属	氏名	
第 201回	1993年5月18日	早期胃癌の内視鏡的治療	北里大東病院外科	比企 能樹	症例 胃癌治療著効例	昭和大豊洲		
第 202回	1993年6月15日	臨床試験におけるサンプルサイズ	東大免疫学	大橋 靖雄	症例 乳癌治療例	杏雲堂	佐藤	
第 203回	1993年7月20日	シスプラチン・カルボプラチンの併用療法	癌研 婦人科	陳 瑞東	症例 肝転移を伴う結腸癌	青梅市立	佐藤	
第 204回	1993年9月21日	生薬ガマ油から抽出したセンソ成分 プファリンのヒト白血病細胞に対する 強力な分化誘導作用	昭和大薬学部	黒岩 幸雄	癌転移の研究	癌研	塚越 茂	
第 205回	1993年10月19日	消化器癌化学療法の biochemicalmodulation	埼玉がんセンター	赤沢 修吾				
第 206回	1993年11月16日	癌と悪液質	癌研究会 化学療法 センター	片岡 達治	癌患者とPGE2と免疫パラメーター	帝京大	込田	
第 207回	1994年1月18日	話題の新抗癌剤 (司会仁井谷久暢 日医大4内)						新年会(癌と化学療法社 会議室)
		BOF-A2	阪大	田口 鐵男				
		CPT-11	帝京大4内	古江 尚				
第 208回	1994年2月15日	癌悪液質と代謝異常	鳥取大分子生物学	遠藤 英也				
第 209回	1994年3月15日	回転デジタルシステムの開発とメタ リック・ステント	日医大 放射線	隈崎 達夫	CDDP-Etoposide併用実験			
第 210回	1994年4月19日	アポトーシスによる細胞障害機構	順大免疫学	加藤 和則				会計報告(渡辺 竜王温 泉病院)
第 211回	1994年5月17日	CDDPの少量連日投与	癌研 婦人科	清水 敬生				
第 212回	1994年6月21日	フルツロンとサイトカイン	阪大	田口 鐵男	胃内分泌細胞癌の化療例	順大	岩崎	
第 213回	1994年7月19日	肺癌の生物学的特性と化学療法	日医大4内	仁井谷 久暢	悪性リンパ腫の超音波エコー	群馬がんセン ター	秋谷	
	1994年9月1日							会長交代 仁井谷久暢→栗原稔
第 214回	1994年9月20日	温熱療法 最近の話題	福井医大放射線基 礎医学	加納 永一	癌性疼痛の解析装置	獨協大越谷 呼 吸器内科		
第 215回	1994年10月18日	ロイコボリンと5FUの併用、最近の動 向	都立駒込 化学療法 科	佐々木常雄	CDDPの腹腔内投与の工夫	昭和大藤が丘	生田目	
第 216回	1994年11月15日	細胞周期解析の癌化学療法における 問題点	岩手大 産婦人科	西谷 巖	塩酸ドキソルビシンの腫瘍内濃度に対する通電およ び気功の影響	昭和大 1内	中島 宏昭	
第 217回	1995年1月17日	皮膚進行性悪性黒色腫の化学療法 の現状	石原診療所	石原 和之				新年会(ホテル国際観光)
第 218回	1995年2月21日	がんは免疫で治るか	千大高次機能制御 研究センター	谷口 克	進行胃癌に対するC-FMP療法の検討	北里大東病院 内科	小泉 和二郎	今回より会場を八重洲俱 楽部第一会議室に変更
第 219回	1995年3月14日	癌細胞の分化誘導とApoptosis	元埼玉がんセンター	穂積 本男		獨協医大東病院 1内	加藤 史郎	

第 220回	1995年4月18日	乳癌患者のQOL評価と治療への応用	川崎医大 内分泌外科	下妻 晃二郎	肺癌患者の血管病変	国療東京	田村 厚久	会計報告(渡辺 竜王温泉病院)
第 221回	1995年5月16日	末梢血幹細胞移植を用いた癌細胞の化学療法	都立駒込 化学療法科	向山 雄人	温水動注化学療法の基礎と臨床について	国立郡山	佐藤 忠比古	
第 222回	1995年6月20日	発癌予防の臨床計画ー特に肝発癌とレチノイド	岐阜大 1内	武藤 泰敏	肺結核肺全摘術後に発生した胸壁腫瘍の一例	東京医大八王子医療センター	平良 修	
第 223回	1995年7月18日	癌転移の分子機構	東大栄養学	久保田俊一郎	大腸癌患者における便中胆汁酸測定 of 診断的意義	順大 1外	鎌野 俊紀	
第 224回	1995年9月12日	前立腺癌の治療	日医大第一病院	伊藤 博	TEA	青梅市立 外科	山田 忠義	
第 225回	1995年10月24日	重粒子線治療について	放射線医学総合研究所 重粒子治療センター	森田 皓三	担癌宿主末梢血顆粒球内のリゾチーム活性	横須賀共済	谷口 猛	
第 226回	1995年11月21日	わが国の人口の消長、その要因とがん死亡、罹患の動向ー21世紀への対応を考えながら	愛知県がんセンター	青木 国雄	CDDP・VP16が奏効した場合ー癌性リンパ管炎(肺原発腺癌)の一例	塩谷総合病院	端迫 清	規約改正について
第 227回	1996年1月23日	臨床試験のあり方を考える	大分医大臨床薬理	中野 重行	腎不全患者における5FUの血中濃度	都立駒込	佐々木常雄	新年会(ホテル国際観光)
1996年2月8日 東京がん化学療法研究会の今後について (於 癌と化学療法社) 栗原会長・仁井谷・塚越・渡辺・島田								
第 228回	1996年2月20日	癌患者の神経内分泌免疫相関とその意義	聖マリアンナ医大	星野 孝	次回治験 遷延性悪心・嘔吐に対する経口5HT3受容体拮抗剤+経口ステロイド剤の有効性の検討について			
1996年3月19日 25周年記念実行委員会(国際観光ホテル2Fエーボン) 古江・渡辺・谷口・島田								
第 229回	1996年3月19日	昭和大学における治験審査の現状	昭和大 第2薬理	安原 一	25周年記念行事計画報告 東京がん化学療法研究会新事務所開設について		古江実行委員長 仁井谷 久暢	
(4月1日 東京都港区芝大門2-4-8 めいすビル2Fに事務所開設)								
第 230回	1996年4月16日	血小板増加因子トロンボポイエチン(thrombopoietin)の基礎と臨床	東大 医科研	東条 有伸	25周年記念実行委員会(国際観光ホテル2Fエーボン)			
	1996年4月30日	東京がん化学療法研究会の細則について(於 昭和医大豊洲病院)		栗原・仁井谷・塚越・渡辺				
5月休会								
第 231回	1996年6月18日	医師が肺癌になったとき	国療村松晴嵐荘	柳内 登				事務員 佐藤、島田→三田紹介
第 232回	1996年7月16日	ソリブジンと5FUの併用を巡って	鶴見大歯学部細菌学	藤田 浩	CDDP+OK432腹腔内注入療法	獨協医大越谷		
					会則変更について(事業担当責任者および委員、総務担当、財務担当をおく。監事を2名にする。顧問若干名をおく)			
					25周年事業の公開市民講座中止について(仁井谷) (記念誌は渡辺を中心として続行する)			
第 233回	1996年9月17日	テロメラセ阻害剤は癌化学療法の新しいターゲットとなりうるか?	協和発酵工業医薬品開発センター	井上 謙吾	クラシロマイシンの実験的肺転移に及ぼす影響	日医4内	渋谷昌彦 藤翔二	事務員 吉田紹介

第 234回	1996年10月15日	癌治療と染色体異常	埼玉県立がんセンター	櫻井 雅温	乳癌の化学療法	都立駒込	富永	会則変更(施設会員を廃止し、全て個人会員とする。)
11月例会は八重洲倶楽部改装とアジア癌学会のため休会								
1996年11月26日 第2回役員会 東京がん化学療法研究会事務所								
第 235回	1997年1月21日	CPT-11の臨床使用の工夫—重大な副作用を回避する投与方法	日医大4内	小林 国彦	The First Tokyo Forum of New Anticancer Drugs (TFNAD)について ICH-GCPについて(監査担当適格者登録の件趣旨説明) 事業部の治験登録依頼の状況について(仁井谷)			新年会(八重洲大飯店)
第 236回	1997年2月18日	薬効及び副作用発現の個人差とP450遺伝多型—癌化学療法及びその周辺薬剤との関係	千大薬学部	千葉 寛	癌転移抑制剤の臨床評価法(案)について	臨床薬理開発研究会	塚越 茂	
第 237回	1997年3月18日	副作用軽減を意識した化学療法の問題—5FUのBiochemical modulationを中心に—	大鵬薬品	白坂 哲彦	胃切後患者における経口抗癌薬投与の問題	自治医大臨床薬理	小林 英司	「GCPによる監査担当適格者リスト(東京がん化学療法研究会推薦)」発売
1997年3月28日 第1回TFNAD実行委員会(於 八重洲倶楽部) 実行委員長:仁井谷 久暢 就任								
第 238回	1997年4月15日	ハイパーサーミアの現状と展望	日大 放射線	田中 良明	肺癌領域における話題の新抗癌剤	東京がん化療	仁井谷 久暢	
第 239回	1997年5月20日	癌のChemoprevention	埼玉県立がんセンター	藤木 博太		服部内科	服部 隆延	The 1st TFNAD 会告配布
第 240回	1997年6月17日	抗癌剤耐性因子の解析と臨床への応用	広島大 原爆放射能医研分子情報	西山 正彦				会計報告(塚越) 監査報告(渡辺) 事業報告(仁井谷)
第 241回	1997年7月15日	がん遺伝子の発見	昭和大腫瘍分子生物学研	黒木 登志夫	進行期メラノーマ(小児)の症例 「臨床期に関するアンケート」集計結果報告	皮膚がん予後統計研	石原 和之	The 1st TFNAD 第2回会告配布
1997年8月29日 The First Tokyo Forum of New Anticancer Drugs開催(於:全社協灘尾ホール)								
第 242回	1997年9月16日	胸腔内照射療法	国立国際医療センター放射線	伊丹 純	高カルシウム血症ならびにPTH関連蛋白高値を呈した肺扁平上皮癌の3例	君津中央病院	中村 晃 福山 悦男	The 1st TFNAD 開催報告 The 2nd TFNADは1999年8月27日(金)予定
第 243回	1997年10月21日	スキルス胃癌の病態と腹膜播腫に関する諸問題	大阪市大1外	曾和 融生		群馬大1内	湊 浩一	第1回 TFNAD決算報告
第 244回	1997年11月18日	エイズの現況とその対策—腫瘍免疫への展開を求めて—	日医大微生物学免疫学	高橋 秀実	進行食道癌の化学、放射線療法の工夫	大宮赤十字病院外科	諏訪 敏一	
(12月休会)								

第 245回	1998年1月20日	乳癌の内分泌療法－最近のトピックス	都立駒込病院 外科	富永 健				事務員 南紹介 新年会(国際観光ホテル)
第 246回	1998年2月17日	悪性腫瘍に対する遺伝子治療－腎細胞がんに対する免疫遺伝子治療を中心として	東大医科研内科	谷 憲三朗	動注化学療法により骨組織に分化誘導して治癒したと考えられた進行上顎癌症例	東京都済生会中央病院耳鼻咽喉科	田路 正夫	
第 247回	1998年3月17日	食道癌のChemoradiation	公立昭和病院 外科	小西 敏郎		昭和大豊洲 消化器科	佐藤 温	
第 248回	1998年4月21日	癌の個性診断と癌治療	東大医科学研究所ヒトゲノム解析センター	中村 祐輔		順大消化器科	岩崎 良三	
第 249回	1998年5月19日	癌悪液質の治療法	癌研癌化学療法センター	片岡 達治				会計報告(塚越)
第 250回	1998年6月16日	MDR-1 遺伝子治療	癌研究会附属病院癌化学療法センター臨床部	相羽 恵介	腎透析患者への肺がん化学療法	千葉大呼吸器内科	長尾 啓一	
第 251回	1998年7月21日	前立腺癌 最近の話題	筑波大学臨床医学系泌尿器科	赤座 英之	新しい細胞微小管合成阻害剤TZT-1027について	東京がん化学療法研究会	仁井谷 久暢	事務員 吉川紹介
(8月休会)								
(9月休会)								
第 252回	1998年10月20日	抗がん剤の臨床薬理学研究の現状	国立がんセンター東病院	佐々木 康綱	大腸癌スクリーニングとしての便中胆汁酸測定の意義	順大 1外	鎌野 俊紀	
第 253回	1998年11月17日	DDSを利用した癌化学療法	都立駒込病院	高橋 俊雄	炎症性ポリープに発生した盲腸癌の一例	佐々木研究所杏雲堂病院	松崎 淳	The 2nd TFNAD 案内資料配布
(12月休会)								
第 254回	1999年1月19日	ICH統計ガイドラインの中身について	統計数理研究所 領域統計研究系	佐藤 俊哉				新年会(ホテル国際観光)
第 255回	1999年2月16日	CPT-11の新しい副作用対策	日医大4内 日医大4内	小林 国彦 渋谷 昌彦	CPT-11に関する共同研究について	東京がん化学療法研究会	栗原 稔	
第 256回	1999年3月16日	消化器癌化学療法・最近の進歩	国立がんセンター東病院 消化器科	大津 敦	切除不能胆道癌に対する温熱・化学・放射線併用療法の経験	都立駒込 消化器内科	石渡 淳一	
第 257回	1999年4月20日	食道癌の集学的治療	群馬大学第1外科	桑野 博行	併用投与の問題点	帝京大溝口病院第4内科	古江 尚	
第 258回	1999年5月18日	シスプラチン併用化学療法の効果増強のための工夫・・・連日少量投与方法について	癌研病院 産婦人科	清水 敬生	肺癌と肺結核症	国立療養所東京病院呼吸器科	田村 厚久	
第 259回	1999年6月15日	肝がんの治療について	東京大学大学院医学系研究科消化器内科	小俣 政男				会計報告(塚越)
(7月休会 祝日のため)								

臨時例会	1999年8月17日	Key Endpoints of Oncology Clinical Study Design and Conduct According to Western GCP Standards	MD Anderson	Richerd Pazdur M.D.—MD	Nippon Development: A New Type of Japanese CRO	Commonwealth Pharmaceutical Partners,LL	Jeffrey D Wager.M.D.	本来8月は休会であるが、臨時例会として東京ステーションホテル2F牡丹の間で開催した
1999年8月27日 The Second Tokyo Forum of New Anticancer Drugs開催 (於:ヤクルトホール)								
第 260回	1999年9月21日	大腸癌とポリープの関係	昭和大附属豊洲病院消化器科	松川 正明	症状からでは疑えなかった胆道癌	昭和大第2内科	田口 進	
第 261回	1999年10月19日	癌治療への細胞治療の応用	キリンビール株式会社医薬事業本部	下坂 皓洋	肝硬変合併 肝細胞癌患者に対する動注化学療法の問題点	千葉大学医学部第1内科	吉川 正治	事務員:江渡紹介
第 262回	1999年11月16日	肝動注化学療法の現況	愛知県がんセンター放射線診断部	荒井 保明	複数回の末梢血幹細胞移植を行った難治性 Germ cell tumor の3例	東京都立駒込病院化学療法科	佐々木常雄	
(12月休会)								
第 263回	2000年1月18日	内視鏡生検組織による抗癌剤感受性試験	岩手医科大学第1外科	寺島 雅典				新年会 (大丸ルビーホール)
第 264回	2000年2月15日	CPT-11代謝酵素の遺伝子多型と化学療法有害反応	国立名古屋病院 呼吸器科	坂 英雄	MALToMaの治療	東京大学医学部附属病院分院第4内科	峯 徹哉	
第 265回	2000年3月21日	血管新生阻害剤の開発の現状	大鵬薬品工業株式会社創薬センター第一がん研究所	山田 雄次	構造の活性相関—アンスラサイクリン系	鶴見大歯学部	藤田 浩	
第 266回	2000年4月18日	日米欧における抗癌剤の臨床開発—CPT-11の場合—	株式会社ヤクルト本社 医薬品部	寺田 清	当院におけるCPT-11・CDDP併用療法	昭和大藤が丘病院産婦人科	清水 篤	
第 267回	2000年5月16日	EBMから見た卵巣癌治療と最近の動向	東京慈恵会医科大学附属柏病院 産婦人科	安田 允	胃癌におけるTP/PDECGFの局在とフルツロンの抗腫瘍効果	北里大学東病院消化器科	小泉 和二郎	
第 268回	2000年6月20日	ヘリコバクターピロリ菌と胃癌について	都立駒込病院 消化器内科	榊 信廣				会計報告(塚越)
第 269回	2000年7月18日	サイコオンコロジー:ガン医療における心の医学	国立がんセンター研究所支所 精神腫瘍学研究部	内富 庸介	超音波内視鏡による放射線・化学療法における効果判定(特に食道癌、胃悪性リンパ腫)	群馬県立がんセンター消化器内科	秋谷 寿一	
2000年7月24日~28日 第1回 臨床腫瘍夏期集中セミナー (於:Jビル8階 国際会議室)								
(8月休会)								
第 270回	2000年9月19日	乳癌治療の現状と展望	昭和大豊洲病院乳癌検診・治療センター	富永 健	直腸病変に対する経肛門の内視鏡下マイクロサージェリー	東京慈恵会医科大学青戸病院外科	柵山 年和	
第 271回	2000年10月17日	大腸癌術前化学療法の有用性	日本大学医学部第3外科	藤井 雅志	血清KL-b, CA19-9・CEA値に対するルイス血液型・糖尿病の影響	獨協医科大学越谷病院 呼吸器内科	一和田 俊男	
第 272回	2000年11月21日	胃癌の腹膜転移に対する腹腔内化学療法	東京都立駒込病院外科	荒井 邦佳	メラノーマ進行期のワクチン療法	昭和大豊洲病院 皮膚科	石原 和之	事務員 畠紹介
(12月休会)								
第 273回	2001年1月16日	大腸癌のワクチン療法	東京大学医科学研究所 外科	角田 卓也				新年会(大丸ルビーホール) 事務員 江渡、三浦紹介

第 274回	2001年2月20日	米国FDA抗腫瘍薬部における承認審査の過程とトピックス	東京大学医科学研究所 内科心療科	長村 文孝	日本人のDPD遺伝子多型の解析と副作用との関連	埼玉県立がんセンター 消化器科	山口 研成	例会前、栗原 仁井谷 塚越 古江 工藤 渡辺 藤田 渋谷(8名)でNPOの申請について協議→申請することを例会にて会員に伝える 会長交代 栗原 稔→工藤翔二
(3月休会 祝日のため)								
第 275回	2001年4月17日	我が国におけるオーダーメイド治療の問題点	国立がんセンター中央病院 放射線治療部	西條 長宏	化学療法に著効した胃悪性リンパ腫の症例記録	社会保険中央病院 内科	浜田 勉	例会前、工藤 栗原 佐々木 塚越 長尾 仁井谷 福山 藤田 古江 渡辺 渋谷 吉村でNPOの申請につき、各役員の選出を審議し、理事長：仁井谷 副理事長：塚越(財務担当)理事：工藤(月例会会長) 栗原(学術・研究担当) 長尾(学術・研究担当 監事：福山 佐々木 顧問：古江 渡辺 藤田と決定し例会にて会員に伝える
(5月休会 先生方学会のため)								
第 276回	2001年6月19日	肝転移の病態と治療戦略	昭和大学医学部 第2外科	草野 満夫	骨吸収マーカーを用いた肺癌骨転移の補助診断	東京医科大学 霞ヶ浦病院 第5内科	中村 博幸	TFNAD・臨床腫瘍夏期集中セミナー・NPOについて(仁井谷) 事務員 川原紹介
第 277回	2001年7月17日	隣癌の治療 ー現状とわれわれの工夫ー	熊本大学医学部 第2外科	小川 道雄				会計報告(塚越)
2001年7月27日～28日 第2回 臨床腫瘍夏期集中セミナー (於:全共連ビル4階 中会議室)								
(8月休会)								
2001年8月31日 The Third Tokyo Forum of New Anticancer Drugs 開催 (於:ヤクルトホール)								
第 278回	2001年9月18日	日本における胃癌化学療法の進歩ー標準的治療の確立は可能か？ー	大阪医科大学 第2内科	瀧内 比呂也	大腸癌肺転移に対するイリノテカン使用の経験	佐々木研究所附属杏雲堂病院 外科	岩間 毅夫	臨床腫瘍夏期集中セミナー終了報告(仁井谷) TFNAD終了報告(栗原) NPO承認について(仁井谷)
第 279回	2001年10月16日	話題の分子標的治療薬STI-571について	東京医科大学 第1内科	田内 哲三	潰瘍性大腸炎に合併した癌2症例について	大宮赤十字病院 内科	崎村 恭也	

第 280回	2001年11月20日	抗癌剤のクリアランスにおける代謝酵素と輸送蛋白の多型性	国立がんセンター中央病院 呼吸器内科	関根 郁夫	高齢者(80歳以上)肺癌に対する治療の検討	東京都立駒込病院 呼吸器内科	家城 隆次	TCOG主催による臨床試験について(仁井谷) ホームページ作成の件(仁井谷) 臨床試験支援体制の件(仁井谷) 特非TCOG臨時総会開催定款改定の件(仁井谷)
(12月休会)								
第 281回	2002年1月15日	抗癌剤耐性の分子機構ー最近の話題と展望ー	長崎大学大学院 医学研究科感染分子病態学講座感染生理制御学分野(第2内科)	岡 三喜男				定款改訂の件について(仁井谷) TCOGによる非小細胞肺癌に対する自主研究の開始について(仁井谷) 新年会(大丸ルビーホール)
第 282回	2002年2月19日	日本人の<肝炎・肝硬変・肝癌>複合ー20年間1000症例の教えたものー	静岡県立総合病院 消化器科	伊藤 和樹	免疫比濁法による各種胸水および血清中のビタミンD結合蛋白値の測定	獨協医科大学越谷病院 呼吸器内科	濱島 吉男	TCOG事業の責任分担について(仁井谷) 学術研究担当委員の増員について(仁井谷)
第 283回	2002年3月19日	低侵襲・根治療法としての重粒子線治療ー一人に優しく、手術に匹敵する根治療法をめざして	重粒子医科学センター病院 第一治療室	加藤 博敏				年会費について(仁井谷)
第 284回	2002年4月16日	薬物治療におけるテーラーメイド医療ー臨床薬理学者の視点からー	北里大学医学部薬理学診療 北里大学東病院治験管理センター臨床薬理試験研究室	熊谷 雄治	メラノーマに対する遺伝子銃を用いたDNAワクチン療法	自治医科大学歯科口腔外科学講座	王 軍	
(5月休会 先生方学会のため)								
第 285回	2002年6月18日	造血器腫瘍ー最近の治療	東京医科大学 第一内科	木村 之彦				第3回臨床腫瘍夏期集中セミナーについて(塚越) 会計報告(塚越)
第 286回	2002年7月16日	小細胞肺癌に対する化学療法の現状	神奈川県立がんセンター 呼吸器内科	野田 和正	再発卵巣癌に対するT-J(PaclitaxelーCarboplatin) Biweekly療法	日本医科大学附属第二病院 女性診療科	小西 英喜	第3回臨床腫瘍夏期集中セミナー準備状況について(塚越)
(8月休会)								
第 287回	2002年9月17日	ミニ移植による固型腫瘍の治療	国立がんセンター中央病院 薬物療法部	高上 洋一	当センター腫瘍内科における外来化学療法の現況	千葉県がんセンター 腫瘍血液内科	五月女 隆	来年1月からの当番世話人について
(10月休会 先生方学会のため)								
第 288回	2002年11月19日	がん診療におけるInterventional Radiologistの役割	鳥取赤十字病院 放射線科	井集 孝司	非小細胞肺癌に対するVNR・TXT・CDDP術前化学療法	東京医科大学八王子医療センター 胸部外科	平良 修	

(12月休会)								
第 289回	2003年1月21日	婦人科悪性腫瘍:治療効果と再発の画像診断	神戸大学大学院 医学系研究科 生体情報医学講座 放射線医学分野	杉村 和朗				新年会(大丸ルビーホール)
第 290回	2003年2月18日	胃癌術後補助化学療法-Pro-	広島大学原爆放射線医学研究所附属 国際放射線情報センター	金 隆史	~招待講演~ 胃癌術後補助化学療法-Against-	国立がんセンター中央病院 外科	佐野 武	
第 291回	2003年3月18日	前立腺がんの診断と治療	昭和大学医学部附属病院 泌尿器科	深貝 隆志	膵腺扁平上皮癌の一例	佐々木研究所附属杏雲堂病院 消化器科	古田 武慈	アンケートの集計結果について(工藤)
第 292回	2003年4月15日	分子標的治療薬評価のための臨床試験の方法論	国立がんセンター研究所 がん情報研究部	福田 治彦	難治癌に対するミニ移植の経験-後方支援の立場から-	佐々木研究所附属杏雲堂病院 院長	高橋 俊雄	第4回東京フォーラム(TFND)開催延期について(塚越)
第 293回	2003年5月20日	中国における最新の医薬品開発	テムリック株式会社 会長	見取 功	当科で行っている膀胱注化学療法の実際	埼玉県立がんセンター 消化器科	島村 智宗	事務員:藤原紹介
第 294回	2003年6月17日	肺癌治療の世界的動向:日米欧比較	国立がんセンター東病院 呼吸器科	久保田 馨	乳癌におけるDocetaxelのWeekly投与法	昭和大学附属豊洲病院 外科	黒井 克昌	
第 295回	2003年7月15日	わが国の臨床試験の現状 日米臨床試験の比較	北里大学大学院 臨床統計部門	竹内 正弘				会計報告(塚越)
(8月休会)								
第 296回	2003年9月16日	大腸癌患者に対する尿中ポリアミン測定の意義	東京都立駒込病院 外科	高橋 慶一	癌化学療法のパスの効果と問題点	NTT東日本関東病院 外科	野家 環	
(10月休会 先生方学会のため)								
第 297回	2003年11月18日	抗癌剤感受性規定因子の遺伝子発現からみた消化器癌化学療法の個別化	埼玉医科大学 外科学	市川 度	肺がん末期のびまん性陰影2症例	JR東京総合病院 呼吸器内科	星 作男	
(12月休会)								
第 298回	2004年1月20日	臨床試験実施上の留意点	昭和大学医学部第二薬理学 昭和大学病院臨床試験支援センター センター長	内田 英二				新年会(大丸バンケットルームくじゃく)
第 299回	2004年2月17日	IVRと外来動注化学療法、独立開業の試み	たかやすクリニック 院長 康雄会西病院 低侵襲治療センター センター長	高安 幸生	早期胃癌の内視鏡治療	昭和大学附属豊洲病院 消化器科	松川 正明	
第 300回	2004年3月16日	緩和医療の現状と問題点-治療に伴う苦痛の緩和を中心に-	国立がんセンター中央病院 緩和ケア科 医長	下山 直人				2003年度総会: 1)定款改訂に関する件 2)その他